



つくば市未来構想等改定のための 市民ワークショップ

第 2 回
未来に向けて
今必要なこと
つくば市の未来像

発行日：平成30年12月

編集・発行：つくば市 政策イノベーション部 企画経営課

◆つくば市未来構想等改定のための市民WS（第2回）が開催されました！

つくば市では、市の総合的な指針である未来構想の策定にあたり、市民の皆様の声の声を反映するため、前回に引き続き、ワークショップを開催しました。2回目となる今回のワークショップでは、参加者を5つのグループに分けて、つくば市の未来像はどのようなものか、市民の皆様とどのように連携して実現できるかについて議論しました。



日時：平成30年12月2日（日）10:00～12:00
会議場所：つくば市役所 2階 会議室 202
参加者：23名（事務局等含まず）

◆主な意見交換内容

1. グループ討議で出された意見（各グループで共通していた意見や主な意見の紹介）



第2回のワークショップでは、2つのテーマ（①つくば市の強み・弱み等をふまえた未来像（戦略）、②未来像の実現に向けて市民が取り組めること）について意見交換しました。

各グループで挙げられた意見は以下の通りです。

テーマ1：つくば市の強み・弱みをふまえた未来像について

強みで機会を活かす【成長戦略】（強み×機会）

豊かな自然や農地×先端科学技術の進化
⇒「市民や訪れる人が豊かに生活し続けるまち」
⇒「ICTの活用など新たな農業研究拠点があるまち」
人口増加（子供の増加）×教育機関の集積
⇒「子供から大人まで学び合えるまち」
⇒「教育で人が集まるまち」 など

機会に乗じて弱みを克服【克服戦略】（弱み×機会）

自動車がないと不便・公共交通が弱い×自動運転技術
⇒「日本一進んだモビリティのまち」
公共施設やインフラ老朽化×先端技術
⇒「最先端技術をインフラ整備に活かせるまち」
中心市街地衰退×跡地利活用（多世代住宅化）
⇒「赤ちゃんから高齢者までつながるまち」 など

強みで脅威を克服【克服戦略】（強み×脅威）

多様な人材の存在×地域コミュニティの軽薄化
⇒「交流により知恵を出し合える風土のあるまち」
良好な子育て・教育環境×高齢化社会
⇒「子供と高齢者のつながりのあるまち」 など

弱みを克服し脅威を回避【回避戦略】（弱み×脅威）

新しい学校がパンクの状況×地域コミュニティの衰退
⇒「利用用途がフレキシブルな公共施設があるまち」
休耕田・農地が増加×都会に近いため人口流出
⇒「都会の人も農業体験ができるまち」 など

テーマ2：未来像の実現に向けて市民が取り組めることについて

| 未来像（主なもの） | 市民が取り組めること（下線は「すぐにできる」こと） |
|-------------------|--|
| 子どもから大人まで学びあえるまち | 研究所や大学の公開講座へ子供と一緒に参加する、研究所等の市民ガイド・つくば市コンシェルジュになる など |
| 日本一モビリティの進んだまち | モビリティに関する説明会・勉強会に参加する、車に乗らない日をつくる、公共交通を利用する など |
| 最先端技術をインフラに活用するまち | 公共施設やインフラの老朽化に興味をもつ、道路や公園のごみを拾う、コミュニティロード・道路づくりへの提案 など |
| 人材育成や心の教育について | 知らない人でも困っている人がいたら助ける、大学生と市民の交流の場にでかける、公開講座へ参加する、教育施設の計画に意見する、地域コーディネーターを育成し活用する など |

◆お問合せ◆つくば市役所 政策イノベーション部 企画経営課

〒305-8555 茨城県つくば市研究学園一丁目1番地1 TEL 029-883-1111/FAX 029-828-4708

*未来構想に関する質問・意見等は、企画経営課のメールアドレスまで pln010@city.tsukuba.lg.jp（※には@を入れてください）

3. 各グループの主な意見（総括）と特徴



A班

先進技術を活かした地域主体のまちづくり

- つくば市の中心部と郊外部をつなげるモビリティを整備し市民が平等にイベントなどへ参加する機会を創出する。
- 様々な知識を得られる場を創出し、市民の意欲向上と主体性を育むことが大切。

B班

モビリティ整備と「心の教育」

- モビリティを充実させ自動運転等の新技術の導入の契機を逃さずに外出機会を増やす。
- 挨拶や清掃など、地域貢献活動の充実を図り、参加者の輪を広げて「心の教育」を行う。

C班

ICTの活用と新たなコミュニティの形成

- ICTを活用やコミュニティロードなどの整備により外出の楽しみをつくる。
- 高齢者の方の不便さを解決するコーディネーター人材の育成や新たなコミュニティの形成を図ることが大切。

D班

人材の受け皿・人とつながれる場づくり

- 研究機関に人材を受け入れられるような環境づくりの整備を必要とする。
- 国家公務員跡地を活かし、人々がつながれるような場を提供することが必要。

E班

市の魅力を発信するコンシェルジュの育成

- つくば市の特徴でもある研究機関について、技術的な知識を伝えられる人材を育成する。
- 市民の方が自発的に行動できるような活動や場を創出する。



4. ふりかえり：ワークショップの後、皆様からたくさんのご意見を頂きました！！



○：参加してよかったと思うこと

●色々な人の意見を聞くことができた

- 他の方の意見をきくことで、広い視野で市の未来について考える機会となったこと。
- 色々な世代、地域の方の意見を聞くことができた。中央と周辺部の住民の意識の差が本当に大きい。

●議論が進んだ・内容を深めることができた。

- 一気に議論が進んだと感じられた。具体性のある議論ができた。
- 再び同じメンバーで話し合い、前回よりも内容を深めることができた。

●意見交換が楽しかった。

- いろんな視点や、知見があり、意見交換していると楽しく、つくば市の未来にわくわくした。

?：質問や今後の進め方などに対するご意見

●WS結果の反映について

- WSの結果を踏まえて、実際にどう施策に活かしていくのか知りたい。
- どんな風に未来構想に活かされたか、後日話が聞きたい。

●市民意見を取り入れる機会の提供について

- 子育て・教育・インフラ・交通などテーマを絞った未来構想ワークショップに参加してみたい。
- みなさん似ていることを感じながらそれぞれの立場で生活していて、このように様々なアイデアを持つ人たちが実際につながり、夢を現実のものにできるようにワークショップの続きが欲しい。

□：十分に話せなかったこと

●今後の展開について

- このワークショップで話し合ったことをどう具体化し活かしていくかの方法論が見えなかった。

●公共交通、必要な施設等について

- 安全のため障害のある人などのために自分で運転する必要のあるセグウェイなどではなく、公共交通（LRTやBRTなど）の整備の方が大切だと思う。
- 福祉施設の不足や連携の必要性、教育の見直しの必要性（親と教員以外の大人と触れ合う機会）について

●その他

- 内容が濃く少数キーワードについてしか深堀できなかったため他のキーワードについても話したかった。

☆：その他ご自由にご記入下さい

●その他

- 研究室の新人をぜひ参加させたいと思った。（つくばの都市計画を知る、市民との交流の難しさを知る）
- 研究機関との交流は現状でも多く行われていると思うが、さらに増やすとすれば、HPやメール等で直接サポーターを募集するのも手だと思う。

